



加東市

議会だより

1月臨時会・3月定例会



歌声でつなぐ市民の輪

3月15日、「第9回加東市合唱祭」がやしろ国際学習塾で開催されました。市内のコーラス8団体と、ゲストの関西学院高等部グリークラブが出演されました。フィナーレには市の応援歌「勇躍加東」が合同合唱され、その歌声が会場いっぱいに響きわたりました。

● 公共施設適正化検討特別委員会	2
● 市民との意見交換会・行政視察報告	3
● 1月臨時会・3月定例会	4
● 予算特別委員会報告	6
● 総務文教常任委員会報告	9
● 産業厚生常任委員会報告	11
● 一般質問	13
● 加東のええトコ!～播磨高野～	16



今号から私たち、広報委員がつぶやきます。

公共施設適正配置計画

2月13日、公共施設適正配置計画（案）について再度市当局に対し説明を求めた。

市長より、9回の住民説明会で市民からの意見を聴取する中で、公共施設適正配置計画の策定を当初予定の3月から9月まで延期し、市民からのより良い提案があれば内容を見直すこともあるとの説明を受けた。

■とどろき荘縮小・継続に関する提案書について

・宿泊部門を廃止し、2階を東条公民館に転用する。
・前面の旧館部分を取り壊し、維持管理費の節減とともに駐車場を確保する。
・蓄熱槽を現状の50t×2基から1基に削減し、温泉・水風呂・サウナを残す。（ジャグジー、リラックスバスを廃止）



【問】公民館の移転はコストの面から考えられていると思うが、教育委員会としてこれで公民館が良いものになると考えているのか。

【答】中学校区に1公民館の体制を維持したいと考えており、老朽化等から東条公民館を取り壊す必要がある中で、とどろき荘の2階であれば機能も維持できると考えている。

【問】「温泉に浸かって帰れる、憩える公民館」と書きながら、採算が悪化した場合は温泉を廃止するというのは矛盾しているのでは。

【答】現在の入浴料収入が維持できれば、継続できると考えている。

【問】温泉の入浴料収入が宿泊料収入の約2・5倍だが、人件費はほぼ半々で配分している。これでは宿泊部門に過大に経費をつけかえていることにならないか。

【答】職員の勤務時間数などから計算した結果であり、温泉業務55%、宿泊業務45%となっている。

【問】では、なぜ人件費が減らないのか。半分は宿泊の仕事をしていると言いがら、正職員の給与は減っていないし、人件費全体で15

%も減っていない。

【答】アルバイト賃金が減っている。正規職員は、宿泊業務がなくなっても、温泉業務が引き続きあるので減らせない。



東条グラウンド

■借地の解消について

必要な公共施設についてはその用地の買収を行う。統廃合による返還も考える。

【問】今までも借地の課題には市として取り組んできたはずである。今回何か進歩したような対応はあるのか。

【答】今回、公共施設適正配置計画をまとめ、具体的に話を詰めていきたい。

【問】現段階では解消の目途が立っていないと受け止めるが、それではコスミック

ホールを廃止しても借地の上に学校が建っていることにもなりかねないし、東条グラウンドも「借地を解消したうえで存続」と書いていることとの整合性がない。

【答】現段階では努力するしかないと言えない。

■計画案全体を通じて

【問】小中一貫教育については、説明会を通じて意見も多かった。今後の進め方について。

【答】PTA等の説明でも、小中一貫教育そのもののへの反対はあまりなかったが、「よくわからない」「詳しい説明を」という声が多かったように感じている。今後、時間をかけて研究・説明をしていきたい。

【問】コスミックホールについては、説明会を通じて「市に文化会館が3つは不必要」という観点からの廃止なのか、「小中一貫校の用地にするために廃止する」のか、一貫した説明がなかったように感じている。

【答】文化会館3つは、市の規模からして過大であるという点からの議論である。コスミックホールの跡地を小中一貫校の用地として有

効活用していきたいということである。

【問】東条地域での説明会では、学校用地の代案としてライスセンター付近、東条グラウンド付近等の意見も出ていた。「難しい」と回答するだけでなく、県と協議する等の努力も必要なのでは。

【答】一般的な農地法の基準について回答した。

【問】コスミックホールについては、音響が優れているというような意見が寄せられていたが、具体的にどう良いのかわからない。それらを示すデータはあるのか。

【答】ホールの残響時間が、満席時1・83秒、空席時2・25秒というデータはある。



コスミックホール

コスミックホール存続を求める 市民との意見交換会

市民との意見交換会

3月6日、「東条文化会館コスミックホールの存続を求める市民の会」の市民9名の方と、全議員16名で意見交換会を行った。

市民の方からは、プロの音楽家や落語家からもホールの音響の評価が高いこと、25年にわたり開催されている「日本木管コンクール」のレベルも高く、今後も継続していきたいこと。今回の公共施設適正配置計画(案)では、東条地域に廃止対象施設が偏りすぎている等の趣旨説明があった。

(以下、市民と議員の質疑応答により進行。○議員 ●市民)

○ホールやコンクールを残してほしいという気持ちはわかるが、財政的な問題もある。

●加東市の財政状況は良いと聞いている。

○木管コンクールはコスミックホールでないとできないのか。

●参加者、審査員からもコスミックホールが良いと聞いている。

○音響の良いコスミックホールで、クラシックのコン

サートをして入場者が少ない。

●今後の我々の課題であると思う。

●旧東条町では動員もしていた。現在は加東文化振興財団で企画をされているので、我々はどうしようもない。動員などで協力したいの思いはある。

○小中一貫校の課題についてはどう考えているか。

●東条東・西小学校とも耐用年数ではまだ使用可能であり、つぶすことは理解できない。東条中学校の土砂災害については、絶対安全かと言われると不安材料もある。

○議員も総論では公共施設の適正化については重要課題だと考えている。まずその基本認識に立って考えていきたい。

●今回の適正化(案)は東条地域に偏りすぎている。

三本市では、合併した吉川町に、「よかたん」等配慮しながら行政を進めている。



行政視察

2月6日、小中一貫教育の視察のため、小中一貫教育特区に認定されている奈良市において、パイロット校として平成20年より小中一貫教育に取り組んでいる奈良市立富雄第三小中学校を、公共施設適正化検討特別委員会・総務文教常任委員会の13名の議員で視察を行った。



奈良市では、「9年間の連続した学びの中で、「確かな学力」と「豊かな人間性」の育成を図る」を目標に小中一貫教育を推進している。

市独自で教員の採用を行い、小1～小3まで30人学級、小4～小6まで33人を超えとする30人程度学級を取り入れている。

週1時間の追加授業を行い、情報科(コンピュータ活用)、郷土「なら」科、英会話科(小1から)を行っている。

奈良市では、小中一貫教育と学校の統廃合をからめて行うことは難しいと考え、分離して推進した。



富雄第三小中学校は、施設一体型であり、同一の敷地にある学校に小学生・中学生が通学している。中学校1年生は7年生、2年生は8年生、3年生は9年生となる。

校長は小中学校を通じて1名。教頭は小学校、中学校それぞれに在る。職員室は同じであり、互いに協調しながら協力に当たっている。

従来であれば、中学校の教師は「小学校で基礎をちゃんと教えてきてくれれば」、「小学校の教師は「中学校で、小学校でやってきたようにきめ細かな指導をしてもらえば」との思いがあった。現在は、同じ

職員室で、互いに議論できるので、理解できる部分も出てきた。

4-3-2制なのか、6-3制なのか、という質問を受けることが多いが、現場では特に意識をしているわけではない。行事等で、4年生・7年生・9年生がリーダーシップを取ることもあるし、6年生・9年生が取ることもある。6年生の卒業式も行う。入学式は小中合同で行い、7年生が1年生の手を引いて入場する場面は好評である。

学校内には、「富三ホール」があり、学校行事だけでなく、地域の活動でも活用されている。

「地域教育協議会」を立ち上げ、ボランティアなどで様々な地域の方に協力してもらっている。

教員の負担は増えているが、モチベーションの高い教員が担当してくれている。



富三ホール

たくさんの声、うかがいました。



地域プレミアム付き商品券発行

第57回加東市議会臨時会は、1月29日の一日会期で、また第58回加東市議会定例会は3月3日から3月27日までの25日間の会期で開会した。市長から新年度の施政方針の説明があった。平成27年度当初予算が提案され、予算特別委員会を設置し審査した結果、原案のとおり可決した。また、専決処分報告及び平成26年度各会計補正予算、条例の制定および一部改正、基本計画、財産得喪失、人事案件など43議案は原案どおり可決した。また、議会諮問第1号には答申し、他に請願2件のうち、1件を採択し、もう1件を不採択とした。18日には、一般質問が行われ7名の議員が当局の考えをただした。

1月臨時会

一般会計補正予算(第10号)

【問】滝野交流保養館(滝野温泉ほか)の指定管理料2170万円の内容について説明を求める。

【答】泉質の変化と経年劣化によるボイラー施設的能力低下に対応するためである。

全会一致で可決

3月定例会

一般会計補正予算(第11号)

【問】土地の売却収入はどこに土地か。

【答】滝野梶原線整備に伴う新町の神社などの代替地である。

【問】地域プレミアム付き商品券の発行について。

【答】これまでのような一過性の金券配布ではなく、プリアイドカードのようなものを活用する。商品を買う時にももちろん、今後進める公共交通を利用した場合、地域活動に参加した場合にもポイントが付加され、そ

反対討論

のポイントが次の買い物に活用できるイメージである。地域マネーとして市内の事業所、地域を巻き込み、継続性のある事業展開を図りたい。

病院事業会計への補助3億5千万円は、3年前3億円を補助した時と同じことの繰り返しで改善がない。ご当地カードについても検討が不十分なので反対する。(藤尾)

賛成討論

病院については医師の退職等の理由によるもので、市長・院長より強い決意を聞いた。ご当地カードも消費の循環・まちづくりにつながると考え賛成する。(大畑)

賛成多数で可決

病院事業会計補正予算(第4号)

2、敷児童公園内施設一式(遊具等)を敷地区に無償譲渡する。

【問】増収益の計画は無理ではないのか。

【答】常勤医の増員があれば増収は見込まれる。

賛成多数で可決

土地取得の件

道の駅とうじょう駐車場等用地としての土地取得。面積 5097・69㎡ 取得予定価格 1億2999万1095円

全会一致で可決

市有財産処分の件

1、久米児童公園を久米地区の児童公園として無償譲渡する。

平成26年度 各会計補正予算

(単位：千円)

会 計 種 別			補正前の額	補正額	補正後の額	主 な 内 容
特 別 会 計	一 般 会 計 (第11号)		18,336,020	△370,848	17,965,172	農村地域防災減災・生活緊急支援事業、病院事業会計への補助金
	国 民 健 康 保 険 (第3号)		3,949,009	△110,526	3,838,483	事業費執行見込み、確定
	後 期 高 齢 者 医 療 (第3号)		432,837	△41,613	391,224	保険料、基盤安定繰入金の確定
	介 護 保 険 保 険 事 業 (第4号)		3,388,813	△77,138	3,311,675	地域支援事業に係る人件費、保険給付費の精査
	介護保険サービス事業 (第4号)		454,984	△17,350	437,634	サービス利用実績見込み、その他事業費執行見込
企 業 会 計	水 道 事 業 (第 3 号)	収益的収入	1,551,291	△40,000	1,511,291	給水収益の見込精査
		収益的支出	1,489,137	△10,636	1,478,501	委託料、動力費等の執行見込による精査
		資本的収入	1,066			
		資本的支出	347,327	△75,747	271,580	河高地区ループ化事業をH27年度補助事業で実施
	下 水 道 事 業 (第 3 号)	収益的収入	2,324,487	△305,414	2,019,073	雨水処理に係る繰入金の減額 外
		収益的支出	2,115,117	△4,004	2,111,113	施設維持管理経費の精査
		資本的収入	564,228	207,103	771,331	企業債の減額
		資本的支出	1,378,222	△29,426	1,348,796	公共下水道事業の減額
	病 院 事 業 (第 4 号)	収益的収入	2,245,615	340,208	2,585,823	市一般会計からの補助
		収益的支出	2,365,447	662	2,366,109	医師官舎用地の鑑定費 外
		資本的収入	171,321	△15,234	156,087	医師官舎用地の売却延期
		資本的支出			0	

行政手続条例の一部改正

行政手続法の改正が行われ、国民の権利利益の保護の充実のための手続きが整備されることに伴う改正。主な内容は、行政指導する場合には相手方に根拠法令等を示さなければならない等、その他、行政指導の中止を求める規定等が整備された。

全会一致で可決

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

地方教育行政制度の改革により、教育委員長と教育長（一般職）を一本化し、新教育長（特別職）を置く等の改正。任期は3年で市長が議会の同意を得て任命あるいは罷免を行う。現在の教育長、教育委員長は任期満了まで在任する。

全会一致で可決

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

人事院の勧告に伴い職員の給与制度を改正する。主な内容は、給料表の水準を

2%引き下げの中で、50歳代後半層については、4%引き下げる。また、管理職が災害その他、急な必要により、午前0時から午前5時まで勤務した場合、特別勤務手当を支給することができる。

その他、通勤手当（国の基準にあわせ減額）の改正、日々雇用職員の1時間当たりの基本賃金の上限（1960円）等の改正。

全会一致で可決

職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正

医師の医療業務手当を、現行「給料月額額の80%、かつ、35万円を上限とする」を、「給料月額を上限とする」に改正。その他、医師の当直、半直の際の救急診療の手当てを上限6千円から7千円に引き上げ、また、緊急で行った手術に対する手当ての上限を2万円から4万円に引き上げる。

総務文教常任委員会へ付託

【問】特殊勤務手当の改正に当たって院長は今後の計画も含み、計画はあるのか。
【答】「患者さんを最後まで

賛成討論

今の病院の厳しい状況を踏まえ、病院長の意欲と仕事に対する医師の状況、環境を整える意味でも大事な条例であるため賛成。

（井上）

全会一致で可決

行政財産の使用料徴収条例の一部改正

太陽光発電設備設置事業者に行政財産の土地、建物等を貸し付ける場合の使用料の規定を改正。使用料Ⅱ調達価格（売電単価）×売却した電気量×使用料係数（公募において3・5%以上で最高の額を提示した値）。

総務文教常任委員会へ付託

【問】近隣の病院に比べ、待遇面はどうか。
【答】正規の勤務時間に対する報酬は、非常にいい部類だと思う。しかし、時間外診療、時間外手術等については評価が低いと感じている。

【問】自然的な現象、災害などリスクは考えたか。
【答】風速38mに耐え、台風の多い和歌山県でも実績があり、加東市でも問題は無いと考えている。

【問】事業者に貸付け、問題が生じた場合の補証は。
【答】プロポーザルで業者を決めるときに前もって補証金を預かる予定である。

【問】貸付けによる収入はいかほどになるか。
【答】面積が合計で約2万9900㎡。20年間で約6千万円の収入を見込んでいます。

全会一致で可決

地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例

介護保険規則で定められていた地域包括支援センターに関する基準を、市の条例で定める改正。その基準は、第1号被保険者の数がおおむね3千人以上6千人未満は、保健師1人、社会福祉士1人、主任介護支援専門員1人を配置する。この規定にかかわらず、地理的条件などを勘案して、地域包括支援センター運営協議会において認められた場合は、第1号被保険者の数に応じて保健師等を配置する。

賛成討論

今後、その実情に応じて人員体制をとるということで、現時点では、とりあえず今の状態でいってもらい、高齢者の方が増えたら、柔軟に対応してもらうことを期待する。

賛成多数で可決

人事案件

人権擁護委員の推薦
藤本和之氏（秋津）
全会一致で同意

監査委員の選任

高橋 優氏（久米）
全会一致で同意

固定資産評価審査委員会委員の選任

大久保利政氏（新町）
藤原正幸氏（上三草）
安居正敏氏（長貞）
全会一致で同意

反対討論

おおむね3千人毎に設置すべきとあるのに、実態としては大方1万人を抱えている地域包括支援センター



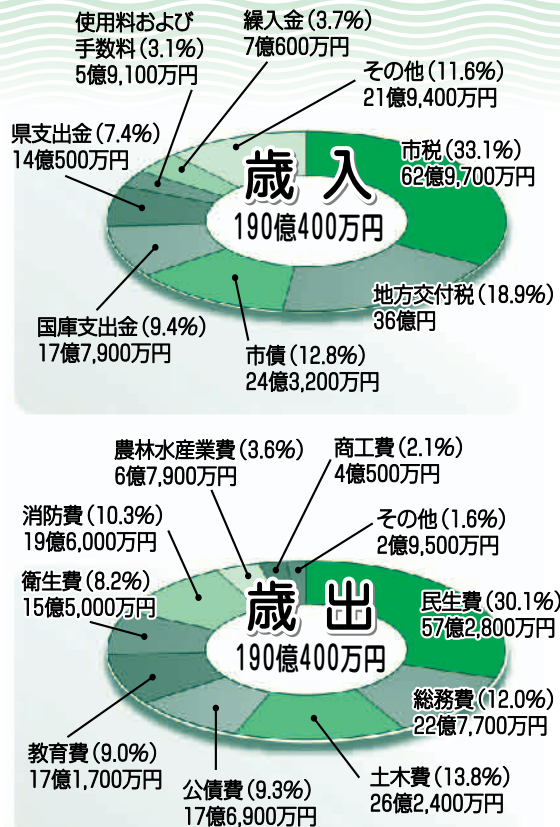
防災・減災、安全安心なまちづくり

平成27年度予算の概要

「安全・安心と活力あるまちづくりを実現する予算」と位置づけた平成27年度予算では、市民のみなさんのより安全・安心な暮らしの実現と、魅力ある資源を活かした活力あるまちづくりの推進に重点を置き、まちと暮らしのさらなる飛躍を目指します。

会 計	平成27年度	対前年度増減額(率)
一 般 会 計	190億400万円	14億300万円(8.0%)
特別会計		
国民健康保険	46億660万円	6億9,447万円(17.8%)
後期高齢者医療	4億555万円	△1,825万円(△4.3%)
介護保険保険事業	33億727万円	△3,975万円(△1.2%)
介護保険サービス事業	3億8,023万円	△6,928万円(△15.4%)
計	86億9,966万円	5億6,718万円(7.0%)
企業会計		
病院事業	24億3,682万円	△2億861万円(△7.9%)
水道事業	19億8,318万円	3億5,774万円(22.0%)
下水道事業	37億7,602万円	3億1,044万円(9.0%)
計	81億9,603万円	4億5,957万円(5.9%)
合 計	358億9,970万円	24億2,976万円(7.3%)

※表内の額は表示単位未満切り捨てです。



平成27年度予算は15名の委員で構成する予算特別委員会（小川忠市委員長）を設置して3月11日から3日間に行ったり審査を行い一般会計予算以外は全会一致で可決した。

市民安全部

- 【問】社会保障・税番号制度事務事業の活用方法は。
- 【答】基本的には、防災・福祉・税務に限られているが、市としては、コンビニ交付や印鑑登録等への活用を考える。
- 【問】まちキユンで当地婚姻届サイトの内容は。
- 【答】結婚情報誌「ゼクシィ」とコラボし、加東市の少子化、人口増加対策やカップルの祝福、市の魅力を全国にアピールする取り組みである。
- 【問】環境整備交付金1千万円の内容は。
- 【答】資源ごみ積替・保管施設を整備する関係で、上中地区に理解と協力を得るために環境整備交付金を一括で交付する。
- 【問】犬の登録、狂犬病予防接種の状況は。
- 【答】平成26年度において登録数は3054頭、予防注射が2106頭で68・9%である。接種率は3年間横ばいの状態である。兵庫県下でも平均70%を切っている。

る。広報や地域での説明で啓発しているが、未接種犬の勧奨・啓発・調査を行う。

【問】妊娠・出産・子育て安心応援事業の内容は。

【答】少子化、核家族化、地域の希薄化により、精神面の支援や医療機関との連携の必要な方が増えている。妊娠届の時点から切れ目なく妊娠・出産・子育て期を通して、コーディネートターがその人に応じた支援をする。



病院事業部

【問】平成26年度の外来患者数と入院患者数はどれくらいか。

【答】1月末現在で、外来患者数は稼働日数203日で1日平均187名、入院患者数は稼働日数306日で62名である。平成27年度は、どちらも20人程度増を目指す。

【問】訪問看護事業の今後の方向性は。

【答】看護師6名と理学療法士の1名で、今後看護師一人当たり15名程度訪問看護できれば収支がとれると考えている。

上下水道部

【問】被災者支援システム整備の概要の説明を。

【答】既存の住基システムの改修を行い、罹災証明書と被災証明書の発行に努める。西宮市構築のものではなく、市独自のシステムである。

【問】LED防犯灯の設置漏れはないか。

【答】調査漏れ等での設置漏れに関しては、各区長より取り換えの要望を頂き平成26年度においてほぼ完了している。

【問】水道料金の滞納はいくらか。

【答】一月末現在の滞納額は4378万1千円である。

「部署の名称」は3月時点のものです。ご了承ください。



援助が必要な方に、「市役所に申請すれば対応します」ではなく、積極的に実情を把握し手をさしのげることを「アウトリーチ」といいます。

福祉部

【問】生活困窮者自立支援事業で何人程の支援を考えているのか。

【答】4月からアウトリーチを行い掘り起こしに努めるほか、支援者相談員も配置する。

【問】加茂保育所の整備期間中の、運営及び工期の予定は。

【答】はびねす滝野の一面を間借りされる予定である。送迎のための時間延長等も検討され、工期は平成27年度中を見込まれている

【問】アフタースクールで児童の受け入れは問題ないか。

【答】他市に先駆けて4年生までを受け入れているが、4月からは6年生までを受け入れる。一部定員枠を増す計画であり、時間延長も考えている。

【問】調査委託料は何処のことなのか。

【答】とどろき荘の底地のことで、借地分の購入を検討している。

【問】緊急通報システム変更のサービス内容は。

【答】現状の設備を利用して、24時間保健師が待機している事業所委託とし、希望者

に3か月に1回「お元気コール」を行なうサービスも提供する。

総務部

【問】ミニボートピア滝野の1%の売り上げ収入は。

【答】地域活性化事業費負担金として昨年度予算約2700万円で、今年度3000万を予定している。

【問】ペーパーレス化の取り組みはしているか。

【答】具体的な数値的目標は出していない。先進地の取り組みを勉強し、情報を得ている。来年度具体的な検討をする。職員向けには取り組んでいる。

【問】市の職員の約4割が嘱託、アルバイトであるが恒常的に正職員が不足しているのではないか。

【答】平成28年度に第3次定員管理計画を定めるため平成27年度は検討の年である。市として職員がどれだけ必要か検証していく。近隣と比べて保育園・ケーブルテレビを直営で運営している関係で、職員が多いと考える。非正規職員数に関して

は長期的に対応せざるをえないと考える。

【問】市のマイクロバスは原則県内しか利用できないが柔軟な対応はあるのか。

【答】費用対効果の面から検討の予知はあるが、対象事業等は今後検討する。

教育委員会

【問】不登校対策事業における不登校の人数は平成25年度小学校5名、中学校20名であったが、平成26年度の人数は。

【答】平成27年2月現在、小学校8名、中学校24名である。Hyper-OUテスト等を実施し、集団の状態を検証することで、児童生徒の内面理解に基づいて指導する。

【問】教職員海外研修の具体的内容は。

【答】ICT教育と外国語教育を重点的に実施してきたアジアでトップクラスの韓国に各小・中学校の職員12名、管理職・事務局職員合わせて8名、合計20名で2泊3日を計画している。実施時期は8月末頃を予定。兵庫教育大学との提携もあり京仁教育大学、大邱教育大学に視察を計画している。

今後、5年間継続の予定であるが成果が上がらなければ中止もありえる。



大邱教育大学校付属小学校

【問】小学校8校、中学校1校に避雷針の設置の理由は何か。

【答】一昨年滝野東小学校の校庭に落雷があった。雨が降って校舎にいたので、子供たちに被害はなかったが、安心安全のために設置をする。

【問】加東市で、地産地消の食材を提供している農家は何軒あるのか。

【答】野菜等を納入しているのは15の農家・グループである。納入登録業者は地元が13・9%である。年々増加はしている。

【問】教材の備品購入代金が高額なのは何故か。

【答】デジタル教科書の電子黒板の指導者用パソコンの更新費用である。

【問】公共施設適正配置計画案で廃止対象の可能性が

る福田幼稚園の洋式トイレへ改修は必要か。

【答】5つのトイレがあり現在洋式が1つで、行列ができる。残る4つの内2つのトイレを洋式に変更する。

【問】東条文化会館の土地鑑定委託料について、どのような方針なのか。

【答】東条コスミックホールについては、存続・廃止にかかわらず借地の解消をする方針である。

地域整備部

【問】準工業用地に太陽光発電を設置している所があるが、雇用最優先目的であるべきと考えるが。

【答】準工業地域であっても設置は可能である。確かに雇用最優先であるが、問い合わせの企業も多くあるので、今後もURと共に土地の利活用と雇用促進の両面で進めていく。

【問】トイレの洋式化改修工事の取り組み場所は。

【答】平成27年度は、社地域清水寺と滝野地域闘竜灘のトイレの洋式化を行なう。翌年度以降は朝光寺本堂裏と三草山登山道入り口(畑・鹿野)に計画している。

【問】酒造好適米の需要拡大に向けた活性化支援業務の取り組み内容は。

【答】日本酒PR用で店の外に掲げるのぼりと試飲用ミニグラスの製作を灘の酒蔵「剣菱」への委託事業として進める。日本酒の推進は酒蔵との連携で推進できると考える。乾杯まつりを市役所周辺で行う予定。

【問】施設の指定管理の見直しの具体的内容は。

【答】5施設すべての指定管理が平成27年度で満了のため、指定管理者選定に経営効率の向上、経営の安定化を踏まえた、契約形態の見直しを進める。責任の所在を明らかにしながら取り組む。

【問】有害鳥獣・特定外来生物捕獲業務等の捕獲について話し合いはされたか。

【答】有害鳥獣対策については、各集落それぞれ柵等で取り組んでいる。播磨中央公園に関しては、公園内に檻を置く方向で検討をしている。猟友会と相談しながら努力する。

【問】地域再生計画・中心市街地等活性化計画策定業務に、関連する委託しようとするのか。

【答】加東市版総合戦略の策定、Bio周辺の新・道の駅構想等について計画策定の支援を求める。

【問】ほかの源泉送水管布設の場所は、現況と違うのか。

【答】現況のルートでは、道路幅も狭く上下水道等も布設されており、既存管を残しての工事であることや今後の維持管理を考慮して、新規ルートで布設する。

農業委員会

【問】耕作放棄地の定義は。

【答】概ね3年程度耕作された状況が見受けられないもの、耕作すべき義務のある者が耕作の意思がない農地と定義している。10月から11月にかけてパトロールを実施している。

企画部

【問】嬉野公民研修所跡地の周辺民有地買収面積及び有効活用の内容は。

【答】買収面積は公簿で78

30㎡である。公共施設適正配置計画の策定を進めるなかで検討していきたい。

【問】鴨川地区の自主運行バスの増便による委託料の増額はあるのか。

【答】地元の協力のもと要望があれば意向に沿うように進める。

【問】総合計画の行政評価の取り組みのなかで、決算時に事業に対する評価は出せるのか。

【答】議会に対して、1千本程度の事務事業をどう示せるか、手法等について検討する。

【問】コミュニティ施設整備事業の具体的な内容は。

【答】南山さくらの名所整備として、獣害対策、転落防止のために柵を設置し、灌水作業を約36回（1回100リットル）行う。



南山さくらの名所

建設部

【問】加古川河川整備による平成27年度の推進状況は。

【答】平成25年から26年にかけて、滝見橋周辺地区の用地、物件補償で、8件中7件が完了し、平成27年度上半期に残り1件が完了予定。

下滝野から河高の1km程の河道掘削が完了し、平成27年度から用地交渉に入る予定。

【問】小元団地の建替に関する周知等はできているか。

【答】家賃等の増額に関しては、丁寧な説明をする。一時移転に関しても、十分な説明を今後も進める。

反対討論

韓国へ教員を毎年20人も5年間かけて行かせる意味がわからないことと、答弁が数点不明な点があったので反対する。（藤尾）

上中処分地の資源ごみ積替・保管施設整備事業に環境整備交付金1千万円は、地域に迷惑がかかる問題点も見当たらないので反対する。（二階）

賛成討論

自然災害に対しての防災・減災の強化を含め24億8千万円、前年度比78%増と力強い支援策を講じる予算計上に賛成する。（岸本）

市制10周年記念式典・記念誌作成、市民憲章碑の設置など今後のまちづくりのステップとして必要な予算に賛成する。（小紫）

市民税・固定資産税が前年度比で3・5%減のなかで、地方交付税など大幅な増により予算編成できたものと賛成する。（井上）

赤山河高線の道路改良の本格的な着工など市のかかえる大きな懸案事項に果敢に取り組み姿勢を十分に評価して賛成する。（大畑）

平成27年度一般会計予算に関しては賛成多数で、その他の会計については全会一致で可決された。

第57回臨時会・第58回定例会 議決結果一覧

（賛否の分かれたもの）

○…賛成 ×…反対

議案番号	議案	大畑 一千代	藤浦 巧	高瀬 俊介	長谷川 幹雄	石井 雅彦	岸本 真知子	小川 忠市	小紫 泰良	磯貝 邦夫	藤尾 潔	安田 朗	長谷川 勝己	桑村 繁則	山本 通廣	二階 一夫	井上 茂和	議決結果
第2号議案	平成26年度一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	○	○	原案可決（賛13：反2）
第9号議案	平成26年度病院事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	原案可決（賛13：反2）
第10号議案	平成27年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○	○	×	○	原案可決（賛12：反3）
第30号議案	加東市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	長	○	×	○	×	○	原案可決（賛10：反5）
請願27-1号	高浜3・4号機再稼働にあたり、慎重な安全対策を求める意見書の提出を求める請願	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	○	採択（賛12：反3）
意見書案第1号	高浜3・4号機再稼働にあたり、慎重な安全対策を求める意見書	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	○	原案可決（賛12：反3）
請願27-2号	東条文化会館（コスミックホール）に関する請願	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×		×	○	×	○	×	不採択（賛6：反9）

※その他の議案は全会一致で可決

加東市・加西市が中心市宣言

総務文教常任委員会

付託請願審査

審査に当たっては、請願者並びに紹介議員の出席を求め請願の趣旨を確認した。

高浜3・4号機再稼動にあたり、慎重な安全対策を求める意見書の提出を求める請願書が提出された。

(請願第27-1号)

【問】関西電力は再稼動をす
ると思うが、再稼動を行わ
ないように要望するとある
が、そのあたりの考え方は
どうか。

【答】十分な避難対策を行わ
ず、不十分なままでの再稼
動は行わないように要望す
ると言うのが趣旨である。

【問】原子力規制委員会では
検査・審査にも合格してい
る事から、京都府が関西電
力との間で安全協定を結ん
だことについてはどう考え
ているか。

【答】本来は立地自治体並み
の同意権とか、再稼動賛成
、反対などの意思を示すこ
とのできる安全協定を結ぶべ
きと思う。

反対討論

再稼動を行うのは関西電
力だから、兵庫県知事・福
井県知事・内閣総理大臣に
意見書を出すのは反対であ
る。安全対策が既に講じら
れ、原子力委員会もゴーサ
インを出している。また、
周辺の自治体とも協定が結
ばれつつある中で、加東市
が反対の立場で意見書を出
す事については反対である。

(大畑)

賛成討論

再稼動に当たっては、十
分な安全対策を講じた上で
ないと稼動すべきではない。
慎重に扱うべきものとして
いることから賛成とする。

(井上)

起立多数で可決

東条文化会館(コスミック
ホール)をとりこわさない
よう、市行政に働きかけを
求める請願書が提出された。

(請願第27-2号)

【問】音響の良さという事が
理解しにくい説明を願
いたい。

【答】数百人もの会場で、マ
イク無しで肉声で語り、表
情がわかるのは舞台上が
って初めて理解できる。反
響板が会場全体に響きわた
る。

【問】文化は費用対効果だけ
ではない事は理解するが、
やはり財政面とのバランス
が必要と思うが。

【答】財政面の事は考慮して
いない。しかし、市民も我々
の浄財も含めながら考えて
いかなければならない時代
が来ていることは理解して
いる。運営面も議論はして
いる。

委員会での反対討論

一般質問で理事者に対し
文化会館の事を質問し、結
果により採択、不採択を決
めていきたいので、現段階
では採決するのは反対。

(大畑)

本議会において特別委員
会が設置され全議員の発言
機会があり、総務文教常任
委員会としては不採択とす
る。

(井上)

特別委員会でも慎重に検討
すべきと中間報告している
ことから不採択。

賛成少数で不採択

(長谷川勝)

本会議での賛成討論

ホールの素晴らしさが理
解できるなら、借地や大規
模修繕という悪条件は克服
できるはずなので賛成。

(岸本)

平成26年3月の報告では、
当面現行体制で維持するが、
将来の建て替えに当たって
は、統廃合を含めて検討す
べきとの報告をした。署名
や嘆願書もあり、存続・廃
止も含め慎重に検討すべき。
よって、賛成する。(桑村)

東条中学校の生徒の署名
には思いが詰まっている。
数字だけでなく本当に価値
あるものを見極めながら進
めてほしいと言って市長に
手渡した。市民と議会の意
見交換が行われ、署名・嘆
願書を市長と議長に手渡さ
れた事は市民の声、民意で
ある。決定までは時間があ
り、多方面から議論をすべ
きとして賛成とする。

(二階)

本会議での反対討論

特別委員会でも審議中であ
り、市行政に働きかけがで
きないため反対する。

(井上・藤尾)

賛成少数で不採択

所管事務調査

定住自立圏形成に向けた「中
心市宣言」

人口減少時代に地方圏か
ら三大都市圏への人口流出
を食い止めるために、加東
市と加西市が共同で定住自
立圏構想に基づく中心市と
して、3月2日午前10時か
ら加西市役所1階多目的ホ
ールにて加東市長と加西市
長による中心市宣言書への
署名とその宣言を行った。

【問】特別支援学校について
加東市には、特別支援学校
わかあゆ園があり、加西
市にも特別支援学校がある
が、これらも連携してい
くのか。

【答】示しているのは都市的
機能として、医療、福祉の
機能を持った施設が客観的



中心市宣言書、市長署名分

絶好の機会を手に入れるため、地道な努力を積もう！チャンスは偶然に訪れない、中心地を活かそう！



雑誌スポンサー制度導入

にあるのかという事を示している。段階的になると思うが可能であれば積極的に連携し、国の支援を受けながら取り組んでいきたい。

【問】中心市宣言により国からの交付金について、概要の金額とわかる範囲の説明が欲しいが。

【答】総務省の財政措置として特別交付税措置がある。

雑誌スポンサー制度の導入について

この制度は、事業者に雑誌購入費用を負担することでスポンサーとなつていただく。その代わりに最新号の雑誌カバーにスポンサーの広告を掲載し、図書館内で閲覧していただく制度。この制度により雑誌の充実を図り活性化に繋げていくもの。



雑誌スポンサー制度

【問】雑誌の透明力バーの費用はスポンサーが全て負担

をするのか。

【答】カバーについては図書館において購入し、中身についてはスポンサーに作成いただき、それを差し込む方法にしたいと思っている。

幼稚園における一時預かり事業について

国において子ども子育て新制度の中で一時預かり事業（幼稚園型）が制度化され、加東市でも保護者のニーズに応じた預かり保育を実施したいと考えている。事業概要は、在園児を対象とした預かり事業とする。保護者の通院や冠婚葬祭等の特別な理由がある場合に限り、教育時間終了後に預かり保育を実施するもの。職員体制については新たな人員配置はしない。利用料金は国の利用基準と同額の400円とする。利用時間は教育時間終了後から4時までとする。

【問】国の方では利用時間を4時としているが、もう少し延長は出来ないのか。

【答】幼稚園を利用されている方は保育にかけない子を預かっているの、4時までで十分と考えている。

【問】利用が通院や冠婚葬祭だと、4時には帰って来れない状況があるのでは。

【答】保護者の希望に応じて今回初めて設定している。突発的なことの対応なので別にアルバイトを雇用するのではなく、職員の中で対応することとし、保育に欠けない子供を預かるので、取り敢えず4時までということ、保護者の皆様にご理解いただくよう周知していく。

【問】国基準は4時間の利用基準をしているので2時半から6時半にすべきではないか。

【答】教育標準時間は4時間となっているので、実際は1時で終了だが、加東市では2時半まで預かっている。4時で国の基準と合わせても少ないとはいえない。



手話講座

加東市議会議員自ら学ぶ手話講座・話し方講座を開く

加東市議会では昨年11月に近畿の自治体で最も早く

手話言語条例が成立し、今年4月に施行されることに伴い、まず議員が手話に馴染み、初歩的な手話を学ぶために3回にわたり手話講座を開催した。一回3時間にわたり16人の議員全員に参加により開催し、各議員は熱心に取り組み、和やかに受講した。1回目は、兵庫県聴覚障害者協会副理事長の小林泉氏から聴覚障害者の置かれている現状や課題を詳しく説明を受け、2回目・3回目は、聴覚障害者協会事務局長の嶋本恭規氏と加東市の手話通訳士・龍美香子氏に日常会話の指導を受け、身振り手振りに興味を持ち、今後は意識しながら手話を身に付けられればと意気込んでいる。第1回目1月23日・2回目2月3日・3回目2月10日に委員会室において実施した。身についていたかな？

2月10日の手話講座の後、正しい話し方教室講座を開き、発声法から、口の開閉

などを学んだ。講師は、色んな会議イベント等でご活躍中の市内の前田友子氏に指導を受けた。

まず、声の出し方では、胸声ではなく、説得力のある話し方をする声を出すためには、臍下丹田に力を入れしっかりと腹声で話す。アエイウエオアオ・カケキクケコカコなどでしっかりと口を開ける練習、早口言葉など交えながら、楽しく受講することができ、普段は何気なく話していることに気付くことも多々あった。

講座では、議員は真剣に取り組み、説得力のある会話の出来る議員として努力しなければならぬと思つた。今後も日常的なことと議員としての研修を重ねていくことは必要と考えている。



話し方講座

市民と協働 アドプトプログラムで 美しいまちづくりへ

産業厚生常任委員会

■アドプトプログラムについて

市民と市の協働により、協定を結んで市の管理施設の清掃や美化を行うもの。市は資機材・苗の提供や保険の加入などを行う。

協定に基づき、市民・団体は年3回以上の清掃・美化活動を行う。

【問】既存のクリーンキャンペーンとの整合性は。

【答】市が管理する道路・河川の活動についてアドプトプログラムの活用していた

で、市から資材の提供を行ったり、保険の対象をより厳密にできる。

【問】自治会などでなくても市と協定を結ぶことはできるのか。

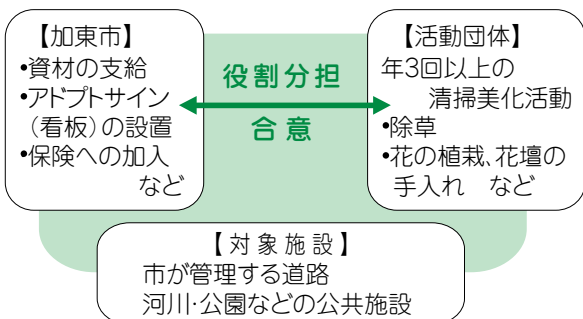
【答】5名以上の団体であれば、市と協定を結び、清掃・美化活動に協力いただける。

【問】協働と言いつながら、市は市民を下請けのように使っているのではないのか。資材にしても「提供願ひ」という名前からして上から目線なのではないか。

【答】そのような意識は持っていない。

【問】クリーンキャンペーンで行う地域の草刈りも、高齢化によって難しくなり、シルバー人材センターに依頼している場合などもあると聞く。アドプトプログラムで成り立つのか。

【答】シルバー人材センターに、クリーンキャンペーンで行うべき場所の依頼がされたというのは把握していない。幅広い参加になるよう、普及啓発に努めていきたい。



■加東市民病院平成26年度経営状況



当初予算で1億5000万円の赤字補填を行っていたが、神経内科医2名を含む3名の医師の退職などにより、2月時点では1億500万円の赤字である。

【問】翌年度以降、改善の見込みはあるのか。

【答】医師確保に努めるとともに、地域包括ケア病床にも取り組んでいく予定である。今回は常勤医の退職等の想定外の事由があったが、医師一人あたりの収益では、加東市民病院は上位である。今後、手当の一部に業績を反映させることで、医師をリードしていきたいと考えている。

■とどろき荘の縮小・継続に関する提案について

【問】前の玄関部分・宿泊部門を廃止し浴槽を減らした

上で、現行の客数が維持できれば存続可能との提案であるが、それだけ縮小して600円の入浴料で客離れが起きないとは考えられない。値下げを検討すべきではない。

【答】前の玄関部分を取り壊すことで駐車場を増やすこともできる。また、廃止した浴槽には観葉植物を置くなど熱帯雨林風にして、さびれた感じを見せないようにしていくことにより現行の客数を確保したい。

【問】今回、縮小の改築費4100万円をかけた上で、5年後客数が少なければ廃止とのことであるが、無駄遣いではないか。

【答】集客施設であれば、そのようにすることも考えられるが、東条地区からも憩いの場として残して欲しいという声も強い中、公民館と一体化することで利用者増にもつながってほしいとの思いで今回の提案を行っている。

■下水道使用料納入通知に関する異議申し立てについて

以前より懸案となっていた兵庫教育大学職員宿舎の

下水道使用料について、引き続き異議申し立てがあった。大学側より、今後は司法の判断を仰ぐとの意思表示があった。

【問】市としても条例改正等、妥協の道は図れなかったのか。

【答】加入分担金の軽減策など、譲歩案は提示した。条例改正については、今後市全体の問題としてはあり得ても、この問題を解決するために条例改正を行うことは考えていない。（全会一致で棄却すべきものと答申）

答申案の概要

・議会としては、9月12月定例会での異議申し立てへの答申に対し、市と大学による協議での解決を求めてきたとのことであるが、大学側より司法の場で決着を図る意向が示されている。今後は、その判断を待つべきであり、今回の異議申し立てについては棄却すべきである。

福祉の諸計画を審査

介護保険料月額100円引き下げへ

第6期介護保険料基準月額

	(円)
加東市	5,500
小野市	5,300
三木市	5,200
加西市	5,400
西脇市	5,500
多可町	5,500
養父市(県最高)	6,610
伊丹市(県最安)	4,490

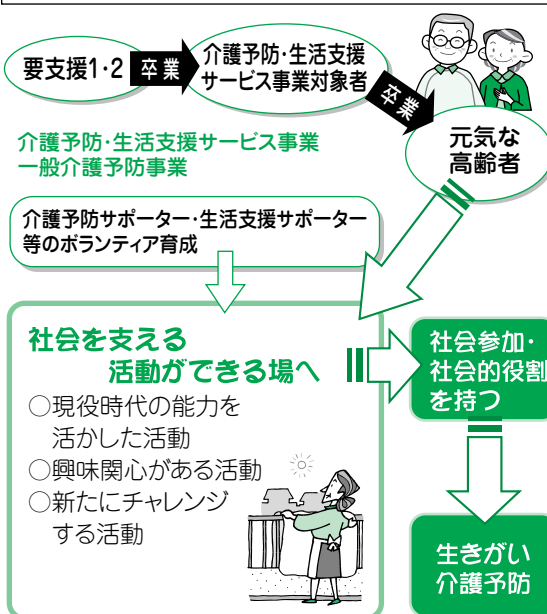
全会一致で可決

賛成討論
月額1000円の減額となつたことを評価する。第2段階の減免については、今後、消費税アップ時に適切な対応が取られることを期待し賛成とする。(小川)

【答】消費税が8%から10%への増税が見送られ、低所得者対策への財源がないとのことである。国の方針以外に独自の軽減を行うことはできない。

■介護保険条例の一部改正
【問】標準的には介護保険料が月額5600円→5500円と引下げになるのは良いことであるが、第2・7・10段階の方は増額になる。第10段階の方は高所得というところでやむを得ない面もあるが、第2段階の低所得の方が増額になるのはおかしいのでは。
【答】消費税が8%から10%への増税が見送られ、低所得者対策への財源がないとのことである。国の方針以外に独自の軽減を行うことはできない。

介護予防・日常生活支援総合事業の推進イメージ図



【問】今回、特別養護老人ホームを整備しないとのこと
【答】地域の課題と、地域の持っている資源をスーパバイザーを交えて整理し、コーディネートできる人材を育成していきたい。来年度は協議体を設置していきたい。

■高齢者保健福祉計画
第6期介護保険事業計画
【問】家族介護者への支援はどのようになっているか。
【答】加東市では、介護者のつらい・カフェを開催し、悩みを解決できるように取り組んでいる。
【問】今回導入する生活支援コーディネーターとはどういうものか。
【答】地域の課題と、地域の持っている資源をスーパバイザーを交えて整理し、コーディネートできる人材を育成していきたい。来年度は協議体を設置していきたい。

賛成討論

今回から市に移管された、要支援者への地域支援事業の充実を期待し賛成する。(小川)

今回計画に書かれている地域ケア会議の充実、生活支援コーディネーターによる地域課題の整理等が機能するよう期待し賛成する。(藤尾)

だが、待機者の状況は。【答】平成25年度64名だったものが、平成26年度は32人に減っている。前回の計画で整備したユニットでまだ使い切れていない部分もあるため、その活用を優先していきたい。

■加東市子ども・子育て支援事業計画

【問】小学校高学年のアフタースクールの需要が過大なのは。
【答】国の指針により算定して計画を定めているのでこのようになっている。3年後に見直すこともあり得る。

【問】児童虐待について、現状どのようになっているか。
【答】件数は増加傾向にあるが、早期での通報を求めていることも要因であると考えている。身体的な虐待よりも、ネグレクト(育児放棄)の家庭が増加傾向にある。ケース会議を開催して個別に支援体制を検討している。

【問】アフタースクールでのいじめはないのか。
【答】発見した場合は、支援員が早期に対応している。

賛成討論

市を挙げて子育て支援に取り組み、人口増につながるような施策を期待し賛成する。(小川)

第7回 議会報告会を開催します！

議会活動や市政の状況を、議員が直接報告・説明し、議会に対する理解を深めていただくとともに、市民の皆さんからのご意見・ご提言を聞かせていただくため、議会報告会を開催します。

日時	場所
5月16日(土) 午後7時～	加東市役所2階 201会議室

※今回は1会場での開催です。



高齢者、障害者に
安全・安心な公共施設の
バリアフリー化について

小川 忠市

問 平成18年に「新バリアフリー法」が施行されているが、市の公共施設はこの「法」に適合しているか。

答 新庁舎は法に適合した建物だが、それ以外は全て平成18年以前の建物であり、法適合としては努力義務に該当する。施設の改修時期等に合わせ改修に努めているが、全て適合するまでに至っていない。今後は、各施設の整備については、公共施設のあり方や財政状況、整備の緊急度等総合的な判断をしていく。

問 高齢者等の利用が多い社公民館はエレベーターや椅子用のトイレが必要な階に整備されていない。また、トイレのほとんどが和式である。優先的に整備すべきではないか。

答 社公民館では、エレベーターなどについて投書等で意見を聞いている。今後技術的に可能であれば、合わせて費用的なことも検討し、整備の取り組みを進めればとの思いはある。

その他の質問

- 生活困窮者自立支援法について
- 若年性認知症の支援について



社 公 民 館



学校給食の減塩の
取り組みについて

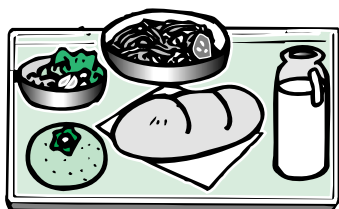
小紫 泰良

問 日本人の塩分摂取量が世界的にも高くなっている。塩分の過剰摂取により、高血圧を招き、動脈硬化、脳内出血・脳梗塞、腎臓病、狭心症・心筋梗塞など命に関わる病気のリスクを高めている。子どもたちの健康のため、大人になってからの生活習慣病を予防するために、学校給食の減塩に取り組むべきではないか。

答 学校給食における減塩の取り組みについては、文部科学省で定められている学校給食摂取基準において、幼少期から青少年期に薄味に慣れさせる必要があるが、小学校の中学年では2・5g未満、中学校では3g未満と定められている。加東市学校給食の直近の3カ月の塩分量は、一食あたり平均2・47gである。薄味を心掛けているが、薄味にしすぎると食べにくくなる場合もあり、残菜量の増加や栄養摂取量の減少などにつながることもある。今後も栄養摂取と減塩とのバランスを考え、子供たちに安全な学校給食を提供していく。

その他の質問

- 平成26年度加東市学校教育の進展の評価と平成27年度の基本方針について



空き家の解消と
条例の推進について

長谷川 勝己

問 加東市の空き家条例が施行され、2年を迎えるが、なかなか進んでいない状況である。国も、空き家の解消が進まないため、新たに特別措置法を2月26日に施行した。この法律では特定空き家と認定されれば固定資産税が約6倍になるようである。

こういった国の強硬な取り組みに対し、市として費用面の軽減対策や税制上の措置等を講じ、市民の負担軽減を図りながら積極的に取り組んでいかなければならないと考えるが。

答 今後、国から詳細なガイドラインが示される予定である。県からも、技術的な助言や市町間の連絡調整に必要な援助も行われることとなっている。既存の条例や規則の見直しも含め、対策計画の参考にしたい。

また、税の軽減対策や空き家、空き地の情報提供、宅建業者の紹介なども計画の一つとなるため、参考にしていく。

その他の質問

- 窓口に「難聴スピーカー」の設置について



難聴スピーカー



少子高齢社会に対する 市の対応について

藤浦 巧

問 昨今の高齢化の対策として、市内に多数ある空き家を、田舎で農業の就業あるいは起業を考えている都市部の若者達に活用してもらう施策について問う。

答 都市部からの若者の就農、起業等の活用に取り組んでいく必要性はあると考えているが、新たに地域に受け入れることは色々難しい面があると考えている。大切な農地を託すことに抵抗感もあり、実際には進んでいないのが実態である。解消すべき課題がたくさんあり、まず、この課題の解消に向けて検討を加えていきたい。

問 少子化対策として、保育料、小中の給食費の無料化を実施すべきでは。財源として法人市民税の超過課税を行えば、一般会計の負担も軽減できると考えるが、市当局の考えを問う。

答 相生市では、平成23年度から学校給食費の無料化の実施、南あわじ市においては平成27年度から保育料の無料化を実施されるようである。軽減策も一つの手法と考えるが、やはり女性の社会進出の進む中、女性が就業しやすい教育・保育の充実、子育てしやすい環境整備に努めていきたい。



文化会館について

大畑 一千代

問 コスミックホールの音響の良さとは。

答 オーケストラ、ピアノソロ、各楽器の独奏や室内楽など様々な演奏形態があり、すべてのジャンルに適したホールはないと聞いている。

問 LOCホールは1・3秒、1・7秒、コスミックホールは1・83秒、2・25秒の残響時間について。

答 歌のジャンルでは長いほうが良く、ピアノソロは長過ぎると良くないという意見がある。演奏家や専門家の評価基準も様々である。

問 LOCホールでのレコーディングは。

答 新ブダベスト弦楽四重奏団が録音され、世界的クラリネット奏者ポール・メイエ氏が録音を希望された。

問 東条文化会館の存続は、やしろ国際学習塾や滝野文化会館を廃止することになるのか。

答 同種施設の重複解消が適正化の重要課題。

問 東条文化会館で合唱祭やプラスフェスタなど出演団体が多いイベントは開催できるか。

答 市民参加型の催物を開催するには、多額の費用で汎用性の高い部屋を設ける必要がある。

問 3会館の課題を整理し市民に示すべき。

答 何らかの形で市民に示せるよう検討する。

その他の質問

■ 小中一貫教育について



外壁のはく離が目立つ
コスミックホール



庁舎周辺の整備について

長谷川 幹雄

問 今後、税務署前交差点西側への拡幅工事はあるのか。

答 拡幅によって、進入車両の速度が速くなる、抜け道としての通行がふえるなど、事故の危険性が増すことが予測される。ゾーン30の表示をし、来庁者や歩行者の安全確保のため、今後拡幅工事はしない。

問 庁舎前にATM端末機の設置はするのか。

答 スペースを確保し公募を行なったが、屋外のため警備上の問題、多くのコンビニにも設置されていること、費用対効果の面から応募はなかった。今後、再公募の予定はない。

問 障害者等の庁舎前への車両の乗り入れの可能性はあるのか。

答 庁舎整備にあたり、歩行者と車両の分離を徹底した設計をしている。庁舎前は歩行者スペースで歩行者の安全を最優先としている。障害者等の車両は庁舎北側にスペースを設けているがわかりにくいため、広報誌、看板、職員等で周知を行なう。

その他の質問

■ 定住促進の取り組みについて



税務署前交差点



企業誘致について

藤尾 潔

問 企業誘致については期待の声も大きいが、市内で1万㎡程度の工場を誘致できる土地がないのではないかな。

答 社・滝野の工業団地については完売しており、南山についても面積的には多く残っているが、これは11万5千㎡の大規模な用地があるため、1万㎡程度の工場が立地できる土地はない。南山の大規模用地については、要請があれば残地の活用に影響が出ない条件で分割も可能であると聞いている。

問 「問い合わせがあれば」ではなく、分割可能なことを積極的にPRすべきでは。

答 今後検討する。

〇小中一貫教育の推進について

問 小中一貫校の推進の是非にかかわらず、児童生徒・保護者・教員に、現在の教育環境に対するアンケート調査を実施すべき。小規模校での教育についても、評価する声が多いのか不安をお持ちなのか、調査したデータをもとに議論することが大事では。

答 アンケートは実施する。時期については4月の保護者会を念頭に置いている。



議会目誌

《主なもの》

1月	
6日	議会広報委員会 公共施設適正化 検討特別委員会
15日	議会広報委員会 議会運営委員会 東播磨・淡路市議会 議長会定例会
22日	議会広報委員会 議会運営委員会 議長会定例会
23日	議会広報委員会 議会運営委員会 議長会定例会
23日	議員研修(手話講座①)
26日	北播磨清掃事務組合議会 事務組合議会
27日	総務文教常任委員会 来庁(新庁舎建設)に対する対応
28日	太子町市議会行政視察
29日	第57回臨時会
30日	公共施設適正化 検討特別委員会
2月	
3日	議員研修(手話講座②)
6日	公共施設適正化検討特別委員会・総務文教常任委員会合同行政視察(奈良市立富雄第三小学校)
9日	産業厚生常任委員会 議員研修(手話講座③・話し方講座)
10日	兵庫県市議会議長会総会 公共施設適正化 検討特別委員会
12日	兵庫県市議会議長会総会 公共施設適正化 検討特別委員会
13日	公共施設適正化 検討特別委員会
3月	
3日	第58回定例会(1日目) 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 議会運営委員会 第58回定例会(2日目) 市民との意見交換会
4日	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 議会運営委員会 第58回定例会(3日目) 議会運営委員会 第58回定例会(4日目) 議会運営委員会 全員協議会
5日	産業厚生常任委員会 議会運営委員会 第58回定例会(2日目) 市民との意見交換会
6日	議会運営委員会 第58回定例会(2日目) 市民との意見交換会
9日	議会広報委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 第58回定例会(3日目) 議会運営委員会 第58回定例会(4日目) 議会運営委員会 全員協議会
11日	議会広報委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 第58回定例会(3日目) 議会運営委員会 第58回定例会(4日目) 議会運営委員会 全員協議会
12日	議会広報委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 第58回定例会(3日目) 議会運営委員会 第58回定例会(4日目) 議会運営委員会 全員協議会
13日	議会広報委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 第58回定例会(3日目) 議会運営委員会 第58回定例会(4日目) 議会運営委員会 全員協議会
18日	議会広報委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 第58回定例会(3日目) 議会運営委員会 第58回定例会(4日目) 議会運営委員会 全員協議会
19日	議会広報委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 予算特別委員会 第58回定例会(3日目) 議会運営委員会 第58回定例会(4日目) 議会運営委員会 全員協議会
24日	北播磨清掃事務組合議会 小野加東加西環境施設 事務組合議会 総務文教常任委員会 議会運営委員会 全員協議会(議案説明会) 北はりま消防組合議会
25日	議会運営委員会 全員協議会(議案説明会) 北はりま消防組合議会
26日	北はりま消防組合議会
27日	議会運営委員会 全員協議会(議案説明会) 北はりま消防組合議会
28日	議会運営委員会 全員協議会(議案説明会) 北はりま消防組合議会
29日	議会運営委員会 全員協議会(議案説明会) 北はりま消防組合議会
30日	議会運営委員会 全員協議会(議案説明会) 北はりま消防組合議会

本会議・委員会の放送予定

加東ケーブルビジョンのコミュニティチャンネル(702ch)で、完全版を録画放送しています。今回の議会だよりに掲載した内容は、下記の日程で放送する予定です。ぜひご覧ください。

日	時	内	容
5月 1日(金)	9:00	3月定例会(第1日、2日)	議案審議
5月 3日(日)	9:00	3月定例会(第3日)	一般質問 再放送18:00
5月 8日(金)	9:00	3月定例会(第4日)	議案審議 再放送21:00
5月10日(日)	9:00	総務文教常任委員会	再放送18:00
5月15日(金)	9:00	産業厚生常任委員会	再放送18:00

(注: 緊急時・イベント等状況により変更になる場合があります)

一般質問(3月18日)の各議員の放送開始時刻は、おおむね次の予定です。

議員名	放送開始時刻	議員名	放送開始時刻
小川 忠 市	9:05 18:05	大畑 一千代	10:50 19:50
小 紫 泰 良	9:50 18:40	長谷川 幹雄	11:30 11:30
長谷川 勝 己	10:15 19:15	藤 尾 潔	11:55 20:55
藤 浦 巧	10:30 19:30		

※市議会ホームページでもインターネット録画配信をしていますので、あわせてご覧ください。

加東市議会

検索



市内の議員おすすめスポット等を紹介する「加東のエッセイ」どうぞ、お楽しみください！

市の応援歌「勇躍加東」の一節に「播磨高野に佇めば、パノラマひと目望みたる」とあります。正にこの場所だとシャッターチャンス、全景をフレームに収めてみました。

五峰山光明寺の中腹にある駐車場は播磨平野が一望でき、歌詞通りパノラマひと目望みたるです。周辺には桜の木が植えられて春のシーズンには花見で賑わい、秋には紅葉と四季折々の自然を満喫でき、隣接する播磨中央公園の隠れ家的なエリアです。

この駐車場から西の方向に向かって勾配の急な坂の参道を500mほど上り歩き、途中塔頭4ヶ院を左右に見ながら真言宗の古刹で「播磨高野」とも呼ばれる光明寺本堂に辿り着きます。本堂の裏側には光明寺合戦本陣跡があり、この場所は丹波路を見下ろせる高所にあり交通の要衝であったことからたびたび合戦の舞台となつたと、歴史の重みを感じます。



新庁舎、見えますか。



（岸本真知子）

こうして五峰山からわがまちを見渡すのも、また乙なものです。付け加えるなら、夜景もひとさわ素晴らしい。「滝野六甲展望台」と呼ばれるにふさわしい夜景スポットここにありです。

議会の傍聴にお越しくささい

加東市役所5階に議場があります

6月定例会の予定	6月 2日(火) 9時30分	議案審議
	6月19日(金) 9時30分	一般質問
	6月26日(金) 9時30分	議案審議

- 1月臨時会は延べ3人、3月定例会は延べ21人の傍聴がありました。
 - 加東ケーブルビジョン(702ch)とインターネットで生放送もいたしますのでご覧ください。
- ホームページ <http://www.city.kato.lg.jp> 電子メール gikai@city.kato.lg.jp

第7回 議会報告会を開催します！

議会活動や市政の状況を、議員が直接報告・説明し、議会に対する理解を深めていただくとともに、市民の皆さんからのご意見・ご提言を聞か

日 時	場 所
5月16日(土) 午後7時～	加東市役所2階 201会議室

※今回は1会場での開催です。

編集後記

平成27年度がスタートしました。市役所の組織改編等、市政においても新たな取り組みが始まりました。その中でも、今年度から取り組む地域創生に関する事業に皆さんは期待されているのではないのでしょうか。

法律の趣旨のとおり地域が活性化されれば、今の時代の閉塞感も払拭されることと思います。

また、市民にとつては、その利益を享受することを心から望まれていることと

思います。

議員としては議会活動を通じて市民の皆様がこの利益がいきわたるよう積極的な活動とともに、このような情報提供を適時に提供していきたいと心、新たにしています。

(藤浦 巧)

議会広報委員会

委員長	山本 通廣
副委員長	藤浦 巧
委員	井上 茂和
	藤尾 潔
	磯貝 邦夫
	岸本真知子
	長谷川幹雄



補助金のバラまきにならないように…。